

# 旬な現場 ～若手技術者の紹介～

平成31年度 駿河海岸大井川工区堤防補強工事 発注者：国土交通省静岡河川事務所 受注者：株式会社橋本組



入社1年目 2019年入社 鈴木啓師朗

## 建設業を選んだ理由

学生の頃、将来の就職についてイメージが全く湧かず悩んでいましたが、高校二年生の時に家の建て替えがあり、自分の家を造ってくれた現場監督さんの仕事を身近で見ると興味を持ち、建設業を目指すことにしました。実際に会社に入ってから現場に従事させてもらって、監督や下請けさんが一体となって、作業をしていることが分かりました。また、自分が住んでいる地元焼津市は地震や津波など、大きな災害が予想されているので、地元を守るために、災害に強い建造物を造っていきたくと思います。

## 現場での役割

現場で職人さん達への指示・調整及び測量などを行っています。職人さん達の意見も聞きつつ、次の作業工程などを所長と考えています。

## 若手技術者へのメッセージ

以前は3K（キツイ・キケン・キタナイ）のイメージがありましたが、現在ではそのような事はありません。様々な用途に合わせ建設機械や重機が稼働しているため力仕事も減りました。また、危険な作業には十分な安全対策や指示をしています。普段何気なく使っている建物や道路などを自分達で作ることができ、出来上がった時の達成感はとても大きいものだと思います。「モノづくりがしたい」という思いがある方にはぴったりな仕事だと思います。



平成30年度 駿河海岸藤守堤防補強工事 発注者：国土交通省静岡河川事務所 受注者：株式会社橋本組



入社3年目 2017年入社 望月楓真

## 建設業を選んだ理由

中学生の頃は将来の夢、やりたい事が特に決まっていなかった。その為、高校の進路を決める際に悩みましたが、モノづくりが好きという単純な理由で、工業高校への進学を決めました。高校一年生の時に土木、建築の基礎を勉強し土木について興味を持ち、土木コースを選択し、より土木のことが好きになりました。高校二年の夏休みにインターンシップへ参加する機会があり、そこで様々な現場を見学し、普段使っている道や建物は、色々な業種の人が一丸となり造っていることを知り、自分も多くの人が利用する道や建物をつくりたいと思い建設業へ就職しました。

## 現場での役割

現場では施工状況の確認、事故が起こらないように安全施設の設置、作業員さんの健康チェックなどを行っています。

## 若手技術者へのメッセージ

建設業は「危険」「疲れる」などマイナスのイメージがあると思います。実際に、他の職業と比べると危険な事や、体を使う作業は多いのは事実です。しかし、現場での危険は作業方法を工夫する事で未然に防ぐことが出来ます。多くの会社が建設業のイメージを良くするために工夫や努力を行っています。そのため昔と比べ、現場の作業環境は良くなっています。快適な生活をするためには建設業は無くしてはならない職業です。より多くの人に建設業について知り、興味をもって頂きたいです。

